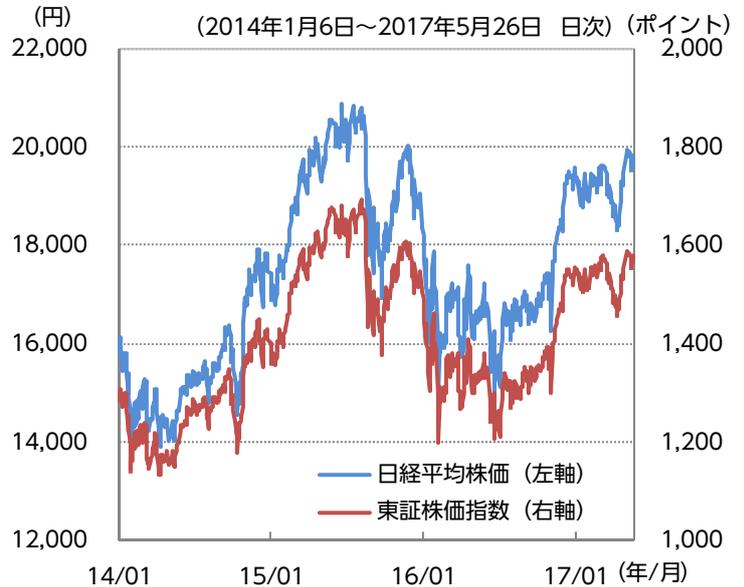




## (1) 日本の株式・債券市場

### 株式市場の動き

- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅上昇となりました。米国株式の底堅さや原油高が好感され週初は上昇したものの、英中部マンチェスターでの爆破事件を受けた投資家心理の悪化により、翌23日（火）は下落しました。週後半は、米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録要旨や、日本株の割安感を好感され上昇したものの、週末は主要国首脳会議の開催を控え持ち高調整の売りが広がり、前日比で下落となりました。  
(週末引け値：19,686.84円)



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

- 週間では、日経平均株価は0.49%の上昇、東証株価指数は0.62%の上昇でした。

### 債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、日経平均株価の上昇や、米債券安、財務省が実施した流動性供給入札等を受けて、週初は利回りが上昇しました（価格は下落）。週後半は、日経平均株価の下落や原油安を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、安全資産とされる国債を買う動き優勢となったことから、利回りは前週末比で小幅上昇となりました。  
(週末引け値：0.042%)



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

- 週間では、10年国債金利は0.002%の上昇となりました。

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

## (2) 米国の株式市場

### 市場の動き

■ 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。週初は、石油輸出国機構（OPEC）総会で原油の減産目標が期限延長されるとの思惑や、堅調な欧州株式相場を受けて上昇しました。FOMCの議事録要旨やOPEC総会の結果から週中央以降も上昇となり、週末も第一四半期の国内総生産（GDP）の改定値が市場予想を上回ったことが好感され、最高値圏での推移となりました。（週末引け値：21,080.28ドル）

■ 週間ではNYダウは1.32%の上昇となりました。



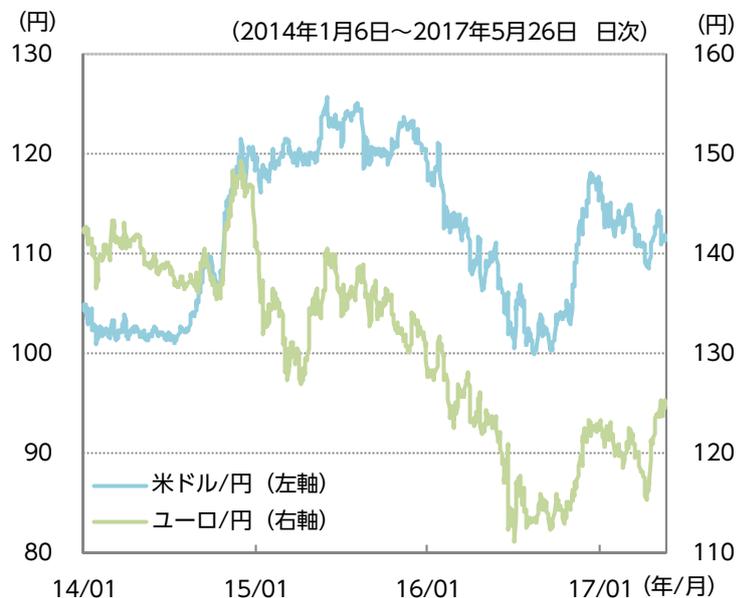
出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## (3) 外国為替市場

### 市場の動き

■ 先週の米ドル/円相場は、前週比では円安/米ドル高となりました。トランプ米大統領のロシアゲート問題や、英中部マンチェスターで起きた爆発事件を受け投資家のリスク回避姿勢が強まり、週初は米ドルを売って「低リスク通貨」とされる円を買う動きが優勢となりました。週後半は、米長期金利の上昇やFOMCの議事録要旨を受けて円売り・米ドル買いが進行しました。（週末引け値：111円30銭～40銭）

■ 週間では米ドル/円は0.06%の円安、ユーロ/円は0.15%の円高となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。